

## 27 貸借対照表の見方11

(棚卸資産の回転日数を見ます)

1日当り売上の何日分あるか

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) 年 月

まず、「1日当り売上」を計算し、棚卸資産の残高が何日分残っているかをみます。回転日数と言います。

- ・1日当り売上は、年換算売上÷365日で求めます  
今月迄の売上÷経過月数×12÷365日=1日当り売上  
[            ] ÷ [        ] ヶ月×12÷365日=【            】
- ・今月棚卸資産÷1日当り売上 = 今月棚卸資産の回転日数  
[            ] ÷ [            ] = 【            】日分

毎月実地棚卸を行って、毎月「棚卸資産回転日数」をチェックする必要があります。経営管理上最重要

前月の回転日数より増加しましたか、減少しましたか。

- ・前月回転日数 < > 当月回転日数 ( 日分) 増・減  
[        日] < > [        日]        【        日】 増・減

同業者の回転日数より増加しましたか、減少しましたか。

- ・同業者回転日数 < > 当月回転日数 ( 日分) 増・減  
[        日] < > [        日]        【        日】 増・減

注) 「1日当り売上」の何日分の残高が残っているか、と言うことを「回転日数」と言います。売上規模が拡大して残高が多くなったとしても、同じ販売状況だったら、同じ回転日数になるはずです。日数が増加すれば、過剰在庫や販売効率低下を考えられますし、日数が減少すれば過小在庫・販売効率アップ等が考えられます。大事なことは何日分の在庫を持って経営するのか方針を決めることです。棚卸資産の増減は、運転資金に重要な影響を与えます。要注意。方針決定。